

神奈川県立こども医療センターオレンジクラブ



## ボランティアニュース

205号 2020年11月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

### ありがとう～こどもたちへの愛がこもったCVカテーテルスタイ～

重症心身障害児施設 看護師 末貞晶子

中心静脈栄養法という心臓に近い太い静脈に細いカテーテル（CVカテーテル）を挿入し、必要な栄養素を点滴する治療を頑張っているこどもたちがいます。この細いカテーテルは先端が身体から露出しているため、引き抜き事故や感染のリスクに配慮しなければなりません。そこで活躍するのが「CVカテーテルスタイ」です。こどもたちがこの治療を受けるとき、CVカテーテルを保護するためのスタイを作ることが推奨されていますが、決められた作り方はなく、こどもたちの個性に合わせて試行錯誤してハンドメイドしているのが現状です。重心施設でスタイの作成に困っていたときに、オレンジクラブでもスタイを作成していることを知りました。オレンジクラブの皆さんに相談したところ、快く引き受けてくださいました。何度も相談を重ねて、こどもたちの個性に合わせてスタイを作成していただきました。こどもたちに会いに病棟まで足を運んでくださったり、こどもたちの年齢を考慮したデザインを考えて下さったりと、皆さんのこどもたちに対するあたたかい思いに感激しました。変更点も多く細かいやり取りが何度もあったにもかかわらず、短い期間で届けて頂きました。作成していただいたスタイはこどもたちにとってのお守りとして大切に使っています。本当にありがとうございました。こどもたちも喜んでくれていると思います。



(縫製グループでは、S・M・LサイズのCV用のスタイを作成し、マルシェで販売しています。)

次の写真は、耳鼻科外来の診察台に取り付けている抑制帯と、縫製の方が作りあげて確認している所です。耳鼻科外来を訪問し、耳鼻科外来看護師の吉井さんにお話を伺いました。

耳の診療に欠かせない、耳鼻科外来の診察用抑制帯



耳鼻科用の抑制帯は、ぱっと見複雑な組み合わせで、『ここここをマジックテープで止めて、そこは〜』といった感じで細かなお願いをして作成してもらいます。これを利用すると、しっかりとまり、固定でき、患者さんが安全に診察を受けられます。使って、すぐビリッとなるのではなく、かなり使って、ビリッとなり直しに出します。とても丈夫です。小さいお子さんは、おかあさんが抱っこして診察できますが、身体が大きくなるとそうはいきません。結構力づくで動こうとしますので、みんなも力を入れて押さえます。みんな必死です。じっとしていないと耳の中を覗いたり、耳のごみは取れません。こども医療センターの多くの患者さんは、これ（抑制帯）があると動かずにすみます。これがあるから、耳を見てもらえます。医者も、有ると良いといいます。これが無いと診察できません。困ります。これがあるから安全です。縫製さんに感謝しています。

続いて、10月の縫製グループ活動終了後、3人の方にお話を伺いました。

### 活動していて楽しいことは？

月2回の縫製ボランティア、いつもメンバーに合える事、依頼の棚に今日はどんな物が？と楽しみです。かなり難しい依頼も全員で文殊の知恵でやりきります。98%OK まるで魔法使いの様なキャリアが皆さんの依頼を待っています。利害関係がなく教えてもらえます。考えているとすぐ教えてくれ、一緒に考えてくれる。皆話を聞いてくれます。この歳（?!）になっても目的があればみんな元気になります。困ったことを解決することもとても楽しいです。「ありがとう」がみえます。相手が直接は見えませんが「見える活動」です。3月からのコロナ騒ぎで参加が少なくなっていますが病棟からの依頼を待っています。御用聞きに伺えないのが残念です。

### 活動していて思う事は

縫製活動は、人から頼まれて喜ばれる。自分が健康でボランティア15年続けてきた。抑制帯直しながらこどもさんの事を考えます。お子さんが小さくて長く入院していて、これ(抑制帯)使わないといけない時もあるんだなあ。

40代で子育てから手が離れ、本格的にやってそこから2000着作りデパートに出していました。

スーツ、ウイディングドレス、ブラウス、等。既製品が主流になったが既製品が合わない人からの注文もありましたが、減ってきました。役に立つことはないかなと考えている時、ボランティアの事を知りました。最初の時、梶山さん(前ボランティアコーディネーター)と一緒にボランティアをしたい方を募りました。あの頃に比べると材料があり、仕事の内容も変わりました。初めは修理のみ、最近はいろいろあります。はじめ家庭用ミシンが5台でした。今は業務用に切り替え、スピードも違う。ボランティアを長く続けるには、自分に合うのがいいと思っています。(メンバー3人との談話より)

## ボランティア研修会『病院での新型コロナウイルス感染症対策について』

講師：当センター感染制御室 秋葉和秀氏（報告者：ぼぼんたグループ 菊島絢子）

新型コロナウイルス感染症とは、感染症名は「コビット19」と名付けられ、瞬く間に世界中に蔓延100万人以上が亡くなっている。現在は治療薬及びワクチンは普及されていない。「コビット19」にならないためにする事、他の人にうつさないために、今出来る事は

**清掃・マスク着用・手洗い厳守・3密を避ける・体力作り** である。

- ①清掃 菌やウイルスをゼロにはできない。感染源そのものを絶つのは不可能。その為に、定期的な環境清掃をして、毎日の拭き掃除が大切。拭き掃除は一方向にふき取る事。
- ②マスク着用 菌やウイルスが体内に入る経路は3つ ①飛沫感染 ②接触感染 ③空気感染  
コロナウイルス感染症は、そのうち飛沫感染と接触感染  
飛沫感染経路を遮断するには、マスクの正しい着用（鼻だし禁止）→飛沫感染防止
- ③手洗い 石鹸、消毒液ともに意識して15秒以上かけて手全体をこするのが重要→接触感染防止
- ④体力作り 菌やウイルスの増殖より免疫力が勝っていれば体内にウイルスが入り込んでも発症せず悪さをすることはない。

免疫力を高める為にする事～

- ・正しい食生活・適度な運動でストレスをためない
- ・十分な睡眠時間を取る。・体調不良時は休んで、ただしい治療を受ける。

以上の注意はコロナウイルス感染症に限らず、日ごろ私たちがしなければならない事がいっぱいである。今更ながら「いい加減な手洗いをして来たな」と意識させられました。

## オレンジクラブ園芸班の活動について

園芸グループメンバー 石井 康博

園芸班は、屋上庭園、重症心身障害児施設、玄関前花壇の3か所で活動をしています。

活動日は、毎月第2、第4火曜日が基本です。（ほかの火曜日は自由参加日にしています）

お花の植え付け・手入れ、草取り、生垣等の剪定と伐採が主な作業です。

今年は新型コロナウイルス対策、7月の長雨で作業が出来ず、8月9月の猛暑により水分不足と日差しにより、お花が大きなダメージを受けました。そのため9月末から集中的にお花を植え付けました。以下に各活動場所の状況を紹介します。

### 1. 屋上庭園（新館6階までエレベーターで。屋外への出入り口から）

かなりのお花を植え付けてあり、それなりに秋の様子が漂っている感じです。

ベコニア、マリーゴールド、コスモス・・・ ツツジ等の生垣を剪定し、見晴らしの良い状態になりました。ベイブリッジ、ランドマーク、他。一番の景色は、天気の良い日に富士山が見えること、これから冬にかけ間近に見えるようになります。午前中がお勧めです。



ぜひ屋上に上がり鑑賞してください。（金木犀が花を付けた事を10月6日に発見しました。）

## 2. 重症心身障害児施設の庭

20 cm位のケイトウが満開。芝生が毎週刈り込まれています。生垣の剪定も終了し、梅ノ木他の剪定作業に入っています。桜の大枝も剪定し、庭全体が以前より明るくなっています。

## 3. 玄関前の花壇

約2年前から未手入れだった花壇にお花を植えるようになりました。10月初めにお花の追加植え付けが終わりました。水遣り等で外来ボランティアの皆さんにお力をいただいています。

患児のご家族で、屋上に休息場所が有ることを知らない方が多いように感じます。外の空気を吸う、天気の良い日は横浜港方面、富士山等も見えます、皆さんにお勧めをしてください。

## ぽぽんたトピック㊦

毎年10月はぽぽんたのクリスマスプレゼント制作で大忙しだ。

何しろ、病院中の子ども達に届けたいから、450個ぐらい作る事になる。

だが 今年にはコロナ感染症のため、ぽぽんたの活動は中止になり、それでも本の貸し出しのみが、厳しい制限の中で9月から開始した。

今年のプレゼントはどうしよう！！

リーダーやメンバーが考えた結果、各病棟へのプレゼントに切り替えた。主人公は「ゆきだるま」。大勢の雪だるまがおすすめ本を持ったり、わらべうたを紹介したり。もしかしたら、おしゃれな雪だるまもいるかな？ぽぽんたのメンバーはそれぞれ自宅で3個ずつの雪ダルマを担当する。

キクちゃんも早速制作にとりかかった。1枚目は赤い郵便ポストのゆきだるまを描いて

「やぎさんゆうびん」にした。2枚目は皆がよく知っている「うんとこしょ どっこいしょ」雪だるま。3枚目は「お弁当箱」の雪だるま。

11月上旬に、プレゼント係りが集めて蛇腹の台紙に張って病棟に届けるのだが・・・・・・・・

全部を見られるのはプレゼント係りだけ。私も見たいな～

きっと楽しい雪だるまたちだね～～～

きくちゃん

## 11月の活動

2日(月) 吊るしびな

7日(土) クリスマス飾り

9日(月) ボランティア調整会議 14:30～15:30

10日(火) ホスピタルクラウン(総合待合・クリーン病棟窓越し)

11日(水) 25日(水) ぽぽんた本の貸し出し

4・11・18・21日 手芸(21日 クリスマス飾り)

毎週火・金 重心作業

毎週月～金 外来

毎週月・水・金 11:00～14:00 患者図書

毎週火 園芸

毎週火 総合待合 高野さんのピアノ演奏